

2022年度の振り返りと2023年度に向けて

【2022年度の振り返り】

2022年度は新型コロナウイルスによる施設内感染拡大が2度あり、昨年7月～8月にかけて発生した施設内感染は特に感染者が多く、さくらほうむでもここまでの感染対応は過去に経験がありませんでした。

当時は都の感染者数が増加する一手手前のタイミングであり、幸いにも感染されてしまったご利用者様のほとんどの方が入院・加療することが出来ました。

職員においても多数の感染者が発生しましたが、ショートステイご利用予定であった皆様には状況説明とご理解を賜り、一時受け入れをストップし、ショートステイユニットに属する介護職員を、人手不足が生じた特養ユニットに配置出来た事から、深刻な人手不足を回避する事が出来ました。しかしながら、1人の職員から始まった感染が結果として40名を超えるご利用者様や職員に感染拡大を及ぼしてしまったことで、感染防止対策の見直しが必要不可欠となりました。

2022年12月に発生した用賀ユニットでの感染拡大におきましては、その反省点が一部で活かされ、ユニットを超えた感染拡大が発生することはありませんでした。しかし、感染者数のご利用者様と職員合わせて12名に上り、感染防止策の更なる改善が必要となりました。

施設運営面でも様々な面で活動が滞ってしまい、皆様には多大なるご迷惑をお掛けする状況となってしまった事を深くお詫び申し上げます。

また、2022年10月に皆様に配布させて頂きました第三者評価によるアンケート結果では、施設での感染対策緩和を求めのお声や、さくらほうむに於ける取り組み・日々の生活状況が見えてこない事へのご意見を多数頂きました。改善の必要性を強く感じた次第です。

【2023年度に向けて】

2023年度、さくらほうむは感染症に対する耐久性をもった運営を目指します。

そこで、2023年2月より、都の助成金を活用した陰圧装置を6台導入し、これにより感染拡大への抑止が期待されます。

※陰圧室イメージ



※陰圧装置



感染者の早期発見への取り組みも継続して実施いたします。現在職員が実施している週1回のPCR検査（東京都による社会的検査で、2023年9月30日までを予定しており、延期の可能性も有り）や、ご利用者様や職員の体調不良時に施設内にて都度実施している抗原検査、更にはショートステイ受け入れ時に実施している抗原検査を継続（感染症法上での5類への引き下げにより変更もあり）して行います。

上記の感染対策を実施・継続することで、感染拡大を最小限に抑え、予定されている各取り組みや活動面において、更には施設運営面に大きな影響を及ぼさないように努めてまいります。

2020年1月にさくらほうむが開設し、ほぼ同時期に新型コロナウイルスが流行を見せ始めたことで、感染防止の観点からも閉鎖的な施設運営を余儀なくされてきました。それに伴い、ご利用者様がお過ごしになっている生活空間を、ご覧になった事のないご家族様が多数いらっしゃる事と存じます。

ご家族様を対象とした第三者評価アンケートからも、ご利用者様がどのような介護サービスを提供されているか、さくらほうむの内部を知らないのでは回答が難しい、というご意見が複数寄せられました。

そのような中で、2023年5月8日に新型コロナウイルスが5類に引き下げられるという報道もあり、それを好機と捉え、居室での直接面会に向けて準備を進めております。

さくらほうむは、新型コロナウイルス始め様々な要因により、多方面での関係性づくりが遅れてしまいましたが、2023年度は風通しの良い施設づくりを目指し、ご家族様との関係性づくりにも尽力する所存です。その上で、ご家族様や関係者の皆様には、改めて第三者評価アンケートにご協力いただき、ご要望やご指摘には真摯に取り組んで参ります。

直接面会のルールに関しましても、現行のルールから少しずつ緩和していく方向で現在調整を進めております。詳細が決まり次第、順次ご案内させていただきます。

引き続きのご理解、ご協力の程よろしく申し上げます。

施設長 金野 隆世



3月の予定



3月の行事食

- 1日（水）お朔日膳
- 3日（金）ひな祭り
- 21日（火）春分の日

他随時実施

- ・内科医師回診 水曜
- ・歯科往診
- ・ユニット毎行事
- ・訪問理美容 等